

○事業所名	おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマートさのほりごめ2号店		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたち同士のかかわり	活動や遊びの中で1年生から6年生と幅広い年齢の子どもたち同士のかかわりを増やせるよう、コミュニケーションのきっかけづくりのお手伝いをしている。職員は安全性にも配慮しながらサポート役として見守っている。	子どもたちの様子を職員間で共有ししっかりと把握できるようにミーティング等で話し合っている。
2	活動等を通して、いろいろな経験が出来るようにしている。	学校休業日や祝日には、室内活動だけでなく公園やお買い物、地域のイベントに参加をする等の活動を取り入れ、ルールを知ることや、地域の方々との交流、お金の払い方など社会の中で必要となることを学ぶなど、様々な経験が出来るようにしている。	主に職員がプログラムを計画しているが、子どもたちからの提案やプログラムと一緒に考える機会を作っている。今後も子どもたちと一緒にプログラムを考え取り組めるような機会を増やしていく。
3	子どもたちが自分で考えて行動する習慣をつけられるようにしている。	活動時には複数の選択肢を用意し、子どもたちが自分の意思で参加したい活動を選べるようにしている。同じ選択をしたグループ内でルールを守ることや協力することを学び感情や行動の調整力をつけられるようにしている。	やり方やルール、役割など高学年の子どもたちが中心となって行っていくことで「こんな風になりたい」と主体的に参加できるようにしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館を含め地域との連携	個人情報、感染症等への配慮を優先的に考えることから地域との交流機会が少なくなってしまうことが課題の要因と考えている。	子どもたちの成長や社会性を伸ばすために地域との交流は有意義だと考えている。地域のイベント等の参加や、事業所間の交流も積極的に取り入れていきたい。個人情報、感染症等の配慮を考慮しながら今後も機会があれば関わりを持てるように取り組んでいきたい。
2	保護者同士の交流や家族への支援	保護者様同士の交流を目的とした保護者会を開催し、昨年に引き続き参加していただけた保護者様もいたが周知までには至っていないことが課題の要因と考えられる。	ご参加いただいた保護者様からは、有意義な時間だった。同じ悩みを持っていることを知れてよかった。等の有り難いお言葉も頂戴しており、今後も定期的に機会を設けられるように立案、検討し取り組んでいきたい。
3	災害時、緊急時の対応や安全確保の取り組みについて保護者の方への周知が弱い。	災害時や緊急時の対応マニュアルは整備されており、訓練等も行なっているが、保護者様へ情報としてしっかりと伝わっていない状況が課題の要因と考えられる。	リトムやお知らせの配布の他に、訓練等を行った際には写真など分かりやすくお知らせし、周知していただけるような方法を検討し行っていきたい。